

先進技術の最新動向 ～先進研究分科会活動報告～

IVI副代表幹事/総合企画委員会委員長
根井正洋
株式会社ニコン

新しい技術やソリューションに関して、実際の機能検証や適用先の検討はこれから というものが対象となります

- 活動期間1年、最大3年まで延長可
- 年5回以上の分科会開催
- 報告書提出と成果発表

既に15の先進研究分科会が立ち上がりました！

承認された先進研究分科会(1)



分科会名	主査 (敬称略)	メンバ 数	内容
データオーナーシップ	松本 日立ソリューションズ	21名	現場データの権利を守るため、法的枠組みやビジネスモデルなどに関する議論を行い、IVIからの発信をまとめます
IoTと管理会計	高鹿 富士通	31名	原価やコスト、経営視点で活用できるデータやリアルタイムに判断すべきデータは何かを研究します
経営と現場をつなぐ KPI	杉山 東芝	11名	現場主体のKPIを経営のKPIにつなげる意義と本当に必要なKPIは何か、を探究します
スマート製造標準化 動向	包原 安川電機	20名	スマート製造に関する国際標準化の動向を把握し、日本の立ち位置や戦略を検討します
次世代BOM・BOP	西村 ブラザー工業	9名	ものづくりの根幹として製品モデルや工程モデルをBOM、BOPの形で表現し、CPSで活用する方法を研究します



承認された先進研究分科会(2)



分科会名	主査 (敬称略)	メンバ 数	内容
新たな無線技術の 利活用	苗村 日立産機シ ステム	7名	ベンダ側、ユーザ側双方の側面から見た、無線技術に関する動向の見極めと提案を行います
センサーデータ 活用技術	松岡 東芝	35名	さまざまなセンサーデバイスのユースケースを整理し、データの活用を簡単に行えるような手法を研究します
ARデバイス活用	市本 マツダ	15名	市販デバイスの活用状況や課題の整理と、ニーズ毎のありたい姿を議論し、AR業界に対して提案を行います
オープン&クローズ 戦略	堀水 日立製作所	11名	オープン&クローズの戦略思想を背景に、実態に合わせて取り込むことで、日本の勝ちパターンを検討します
リアル/バーチャル 融合検証システム	伊藤 マツダ	12名	シミュレーションと実機の相互補完により、事前検証領域の拡大と完結を実現するためのシステム構築を研究します



承認された先進研究分科会(3)

分科会名	主査 (敬称略)	メンバ 数	内容
AI深層学習応用	則竹 豊田中央研 究所	41名	ものづくりの現場で不良品が少ない場合やタグ付けなしデータの学習方法などの課題解決方法を研究します
ブロックチェーン活用	山本 IHI	11名	改ざんされない分散台帳技術を活用し、企業間でつながるものづくりの基盤としての活用方法を研究します
身の丈ロボット	富田 安川電機	8名	中小企業にロボットが普及しない理由を明確にし、簡易なロボットによる自動化の可能性を検討します
汎用マイコン	上岡 CKD	9名	ラズパイやArduinoなど汎用的なマイコンの使用方法を理解し、より発展的な活用方法を検討します
3Dプリンタ ビジネスモデル	浅野 リコー	6名	ネットワークにつながった3Dプリンタを使った新たなビジネスモデルと、活用シナリオの提案を行います



- ・データオーナーシップと知財管理の最前線
データオーナーシップ分科会主査
松本 俊子さん(日立ソリューションズ)

- ・IoTと管理会計の融合による価値形成
IoTと管理会計研究分科会主査
高鹿 初子さん(富士通)

